

見る知る巡る!
みえミュージアム
セミナー



三重のおもしろミュージアムの
とっておきセミナーを
三重県生涯学習センターで!

受講
無料

事前申込制
先着順

会場 三重県総合文化センター 三重県生涯学習センター 3階 まなびい場情報コーナー「みるシル」

※会場は各ミュージアムではありません

10/27(木) 13:30 ▶ 15:00

講師 鈴鹿市考古博物館
学芸員 吉田 真由美 さん

11/12(土) 13:30 ▶ 15:00

講師 海の博物館
学芸員 縣 拓也 さん

11/30(水) 13:30 ▶ 15:00

講師 桑名市博物館
桑名市総務部 文化課学芸員 久保田 恵友 さん

伊勢の瓦

大和の瓦



裏側も全部見せます!

大鹿廃寺出土軒瓦

日本初の寺院「飛鳥寺」が造営されると、天皇や中央の豪族によって続々と寺院が建立されました。寺院建築は朝鮮半島から伝わった最新の技術であるため、地方で建立するには中央による援助が不可欠でした。この中央と地方の関係を探る手段となるのが、軒瓦の文様や製作技法です。セミナーでは展示では見られない瓦の裏側も紹介します。

ボラのよもやまばなし



～イナセな人も、
トドのつまりは?～

からすみの製造風景

ボラ漁はかつて、沿岸漁業の中心であり、食材としても一般的なものでしたが、高度経済成長期の海洋汚染とともに臭い魚という誤解を受け、敬遠されてしまいました。そこでボラや海の環境について見直していただくため、漁の歴史や、三重県沿岸でも親しまれた様々な食べ方、めたい魚として各地祭礼で使用されてきた民俗などを幅広くご紹介します。

祭礼の美



石取祭と祇園祭

石取祭

「桑名石取祭の祭車行事」(石取祭)は、平成19年に国指定無形民俗文化財に指定されました。現在、同じく国指定無形・有形民俗文化財32の山車祭礼とともに、無形文化遺産代表一覧記載へ向けて提案されています。本講演では、展示品である石取祭の懸装品と祇園祭綾傘鉾の懸装品の解説を、特別展のテーマである「祭礼の美」を中心に行います。

セミナー日程

※会場は各ミュージアムではありません



9月7日(水)
パラミタミュージアム



10月4日(火)
松浦武四郎記念館



10月15日(土)
齋宮歴史博物館

見て
知ったら
巡りたく
なるなる。

参加すると
すてきな特典あり!



10月27日(木)
鈴鹿市考古博物館



11月12日(土)
海の博物館



11月30日(水)
桑名市博物館